

# 平成29年度心のきずなを深めるモデルプログラム 研究指定校事業に係る公開（研究）授業

（熊本県立北稜高等学校）

## 1 研究指定校として

本校は、平成27年度から「心のきずなを深めるモデルプログラム研究指定校」として、いじめをなくす取り組みやストレス対処方法の学習プログラムについて3年間研究してきました。これまでの研究成果の報告として、平成30年1月18日（木）に「研究発表会」を開催し、研究（公開）授業及び研究協議等を行いました。

1年生では「アサーションを知ろう・～さわやかな自己表現と断り方～」、2年生では「意見を調整し合意を図るスキルを身に付けよう・～月からの脱出～」、3年生では「考え方を变えてストレスに対処しよう・～ストレスマネジメント～」をテーマに各学年が、研究（公開）授業・特設LHRにおいて、授業を展開しました。

## 2 研究授業について

開催日時：平成30年1月18日（木）13時30分～14時20分

参加者：99名（県教育委員会・県立学校教職員）

<3年生テーマ：ストレスマネジメントを学ぶ>

【主題名】「考え方を变えてストレスに対処しよう・～ストレスマネジメント～」

クラス：ビジネスマネジメント科 3年4組

授業者：教諭 松井 英司 教諭 松尾 忠司

ストレスの程度は、自分の考え方に左右されることに気づき、他者の価値観や感じ方を知ることで、ストレスを感じる理由等、ストレスに対する対処法を学び、他の人の意見も受け入れながらストレスと上手に付き合っていくことを気づかせ、ストレスをやわらげ、ストレスに対するマネジメント力を身に付けることを目標に授業が展開されました。

授業の導入では、3年間の取組みを振り返りながら、ワークシートを用い、個人のストレスについて班内で話し合い、自分のストレスの状態を確認し、ほかの班員と比べました。また、会話事例をもとに二人のストレス



グループでの話し合いの様子

度合いの違いをワークシートに整理しました。今回の目標が個人でストレスの感じ方が違うことやストレスへの理解を深めることができました。

また、この「心のきずなを深めるプロジェクト」の取組みを始めてから、クラス内の話し合いの中でよく意見が出るようになり、話し合いをする中で、担任が口出しをしなくても生徒たちだけで話し合いができるようになりました。その点で、このモデルプログラム事業はとても有効でした。



研究授業のまとめの様子

ビジネスマネジメント科では、課題研究での販売実習や研究発表等の科独自の取り組みでも班ごとの取り組みや話し合いをする機会が多く、これらの科独自の取り組みと本プロジェクトの相乗効果により、ビジネスマネジメント科3年は自分たちだけで話し合いができ、男女の仲もとてもよく、意見を言い合えるようになりました。